

土砂災害対策のための詳細な地形図を活用し、 四国最大級の滝「こがねたき小金滝」の高さを測りました！

高知県大川村の「小金滝」は、雄大な岩壁と美しい紅葉などで、村の主要な景勝地となっています。滝の高さは、従来100m程度とされていましたが、正確な高さはわかっていませんでした。

大川村で砂防事業を行っている国土交通省では、豪雨時に流出する土石流の量や衝撃力などを予測するため、測量により詳細な地形図を整備しています。

今回、国土交通省が大川村へ提供した地形図に基づき小金滝の高さを計測したところ、小金滝の高さは

106mで、**標高差が四国最大級の滝**

であることが改めて確認できました。

【小金滝データ】

位置：高知県土佐郡大川村高野たかの

言い伝え：滝が日光に照らされ黄金のように見えることから小金の滝と名付けられた（大川村より）

高さ：2段106m

ガイド：大川村役場より県道本川大杉線で10分程度。県道沿いから眺望できる。トイレ・駐車スペースあり。

参考：滝の高さは、滝が注ぎ込む早明浦ダムの高さと同じ（106m）。



【今 後】

大川村では、現地において小金滝の紹介パネルなど設置し積極的にPRする予定です。

大川村・和田村長（左）と四国山地砂防事務所・伊藤事務所長（右）

本施策は、四国圏広域地方計画「No.3美しい自然とおもてなしの心による「視国」観光活性化プロジェクト」の取り組みに該当します。

問合せ先（○：主たる問合せ先）

国土交通省 四国地方整備局 四国山地砂防事務所 TEL:0883-72-5400

副所長（技術） 白石 隆（しらいし たかし）

○調査課長 平澤 良輔（ひらさわ りょうすけ）

大川村 むらづくり推進課 TEL:0887-84-2211

○課長補佐 西村 憲二（にしむら けんじ）

四国最大級の滝「こがねたき小金滝」の高さを測りました！

高知県大川村の「小金滝」は、雄大な岩壁と美しい紅葉などで、村の主要な景勝地となっています。滝の高さは、従来100m程度とされてきましたが、正確な高さはわかっていませんでした。

大川村で砂防事業を行っている国土交通省では、豪雨時に流出する土石流の量や衝撃力などを予測するため、測量により詳細な地形図を整備しています。

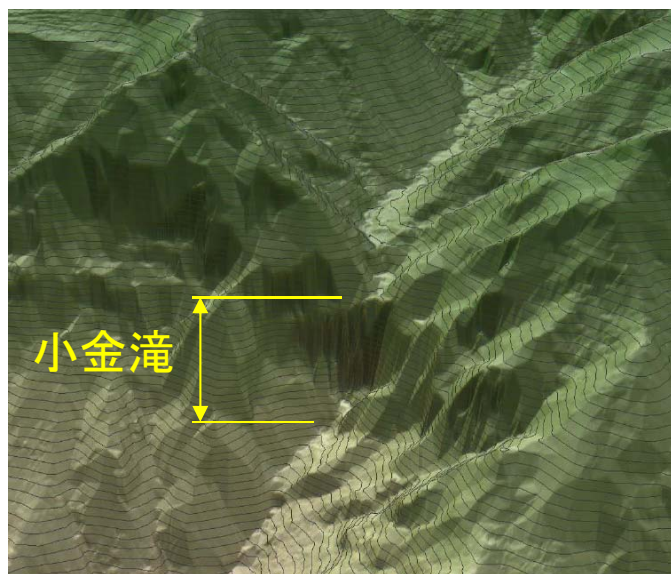
今回、この地形図を利用し、小金滝の高さを計測しました。この結果、小金滝の高さは**2段106m**で、**標高差が四国最大級の滝**であることが改めて確認できました。



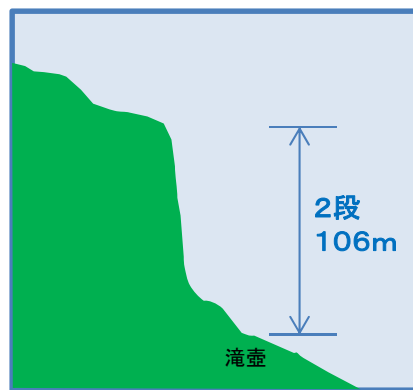
小金滝(大川村HPより)



県道本川大杉線で大川村役場から10分程度、県道からどなたでも眺めることができます(トイレ・駐車場あり)



■国土交通省が作成した地形図
航空機よりレーザー光を地面に照射し、反射光が戻ってくるまでの時間を計測することにより、**従来よりも詳細な地形図**を作成できるようになりました。



地形図から小金滝の高さを計測したところ、四国の滝では**最大級の標高差**であることがわかりました！
また滝壺から下流も急勾配が連続しており、これらも含めた場合、**標高差はさらに大きくなる可能性**があります。